

「紫波町体育協会の取り組み」



サイクルチャレンジ大会は、競技用自転車以外でも競技場内を走行できることもあり町内外から参加者が集っている。

当協会は町から紫波運動公園及び紫波町総合体育館の指定管理者として指定を受け、また紫波自転車競技場については所有施設として管理、運営を行っている。

ソフト面では、体育・スポーツの普及振興、生涯スポーツの推進が図られる内容で事業展開をし、町民の健康増進・体力の向上を目指すことを目的に掲げ事業の企画を行っている。

キッズ・ジュニア期の身体能力向上と運動への意欲向上を図ることを目的としたキンダースポーツ教室や体育塾、高齢者の体力向上と認知機能向上を図ることで健康寿命の延伸を目指す元気いきいき教室、様々な競技スポーツ体験とトレーニング方法の基礎習得を行うことで障害の予防と多動作の習得を図る中学三年生のスポーツ教室など、年間40教室ほどを4期に分け展開している。また、県内唯一の自転車競技場を利用して開催する紫波

昨年度、45年ぶりに本県で開催された第71回国民体育大会（以下、国体。）では、当町は1巡目国体と同様に自転車競技会の開催地として、トラックレースとロードレースを開催した。開催期間中は施設を適正に管理し、安全に提供することは言うまでもなく、本協会理事、職員が競技会役員として運営に携わった。半世紀ぶりに本県で開催した国体に立ち会えたことは貴重な体験であった。

当町は自転車競技のトラックレースとロードレースが単一市町村で開催出来る全国でも数少ない場所であり、町が掲げている「自転車の町・紫波町」に沿ったイベント事業を継続実施することで国体のレガシーとしていきたいと考える。また、先に述べた当協会のソフト事業を発展させながら特色ある事業展開を図り、スポーツ・運動の魅力や意義を伝えることで町民の健康増進に貢献していきたい。

